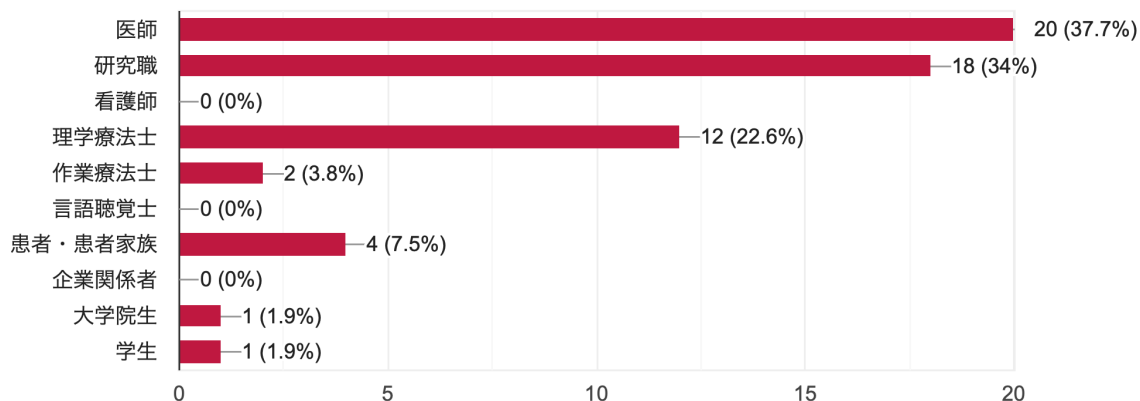


日本小脳学会 第12回学術集会・総会 アンケート結果

作成日：2021.3.24

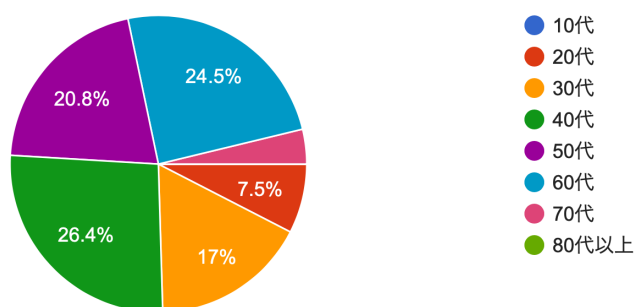
職種について教えてください

53 件の回答



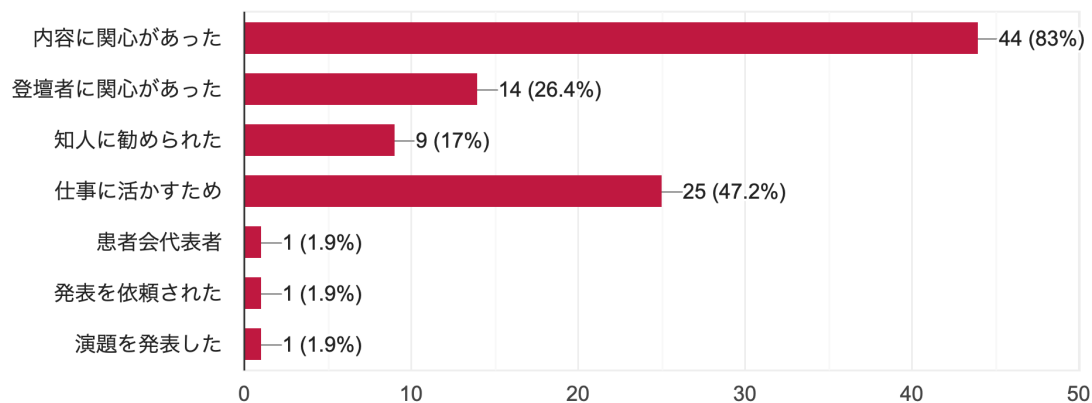
ご年齢についてご選択ください。

53 件の回答



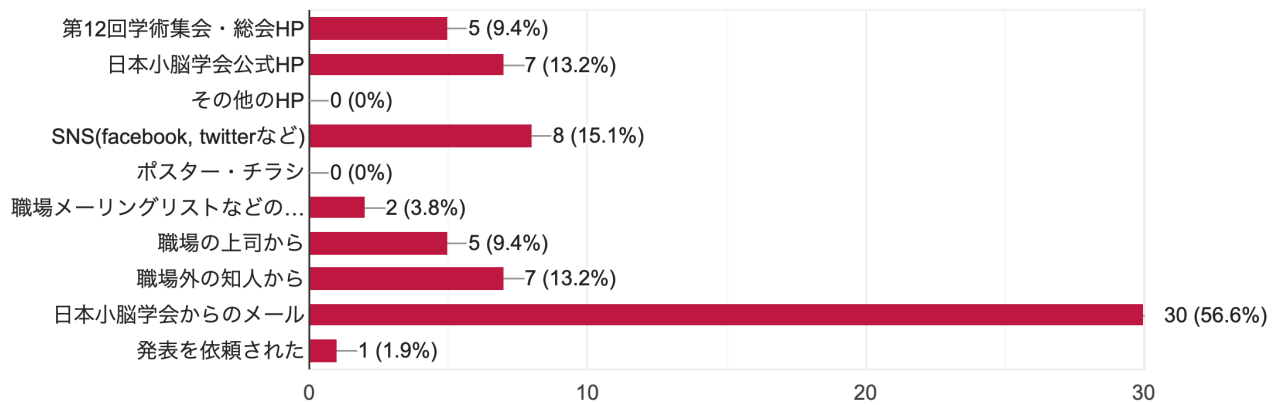
本学術集会に参加された理由について教えてください(複数回答可)

53 件の回答



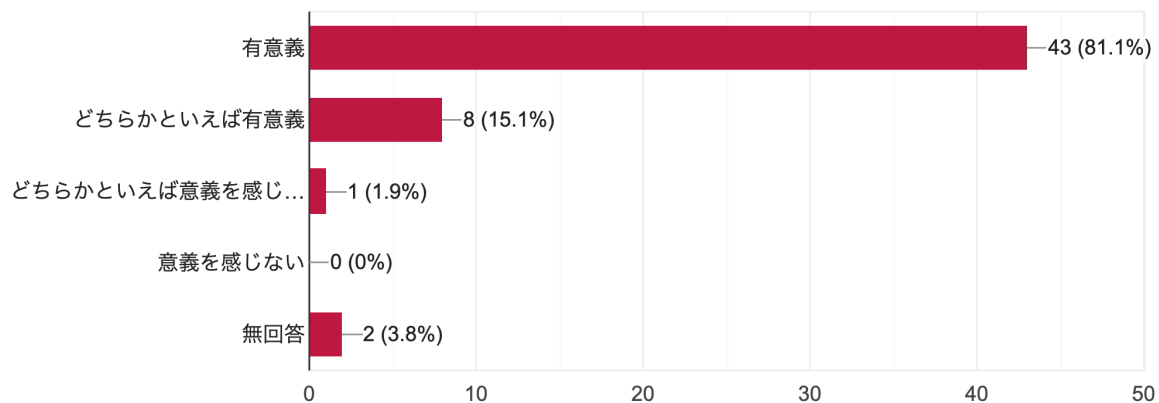
本学術集会をどちらでお知りになりましたか?(複数回答可)

53 件の回答



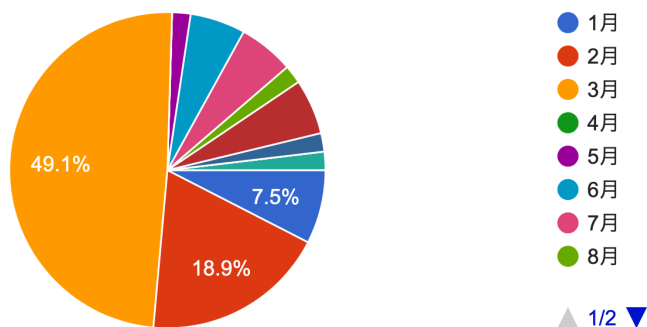
本学術集会の内容は有意義でしたか?

53 件の回答

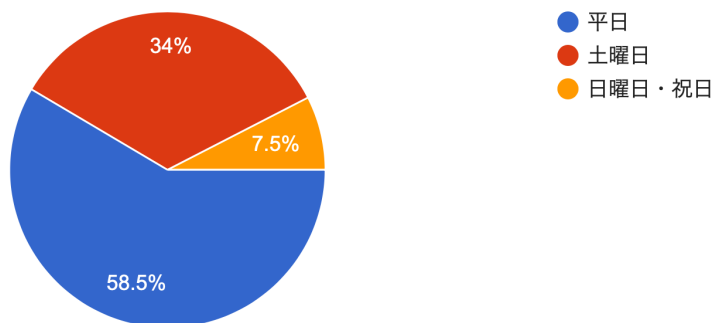


次回の日本小脳学会の毎年開かれる定期的な学術集...盤に関する調査研究の会議：毎年1月2週目開催)

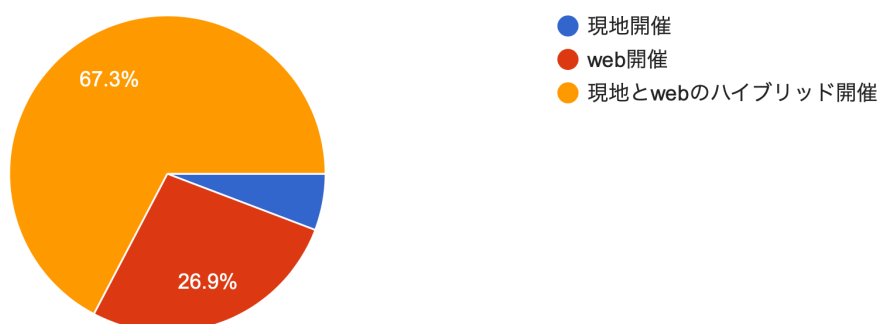
53 件の回答



次回の日本小脳学会の毎年開かれる定期的な学術集会開催日のご希望はいつでしょうか。
53 件の回答



次回開催の学術集会・総会の形式についてご希望をお教えてください。
52 件の回答



今後の日本小脳学会の学術集会で希望する話題はどのようなものでしょうか。
27件

今回のように各分野についてのバランスの取れた内容が良いと思います。

リハビリテーションの教育講座

イメージング

小脳脚の問題など

リハビリ

小脳を病巣とする脳卒中患者に対するリハビリテーションについて

最新情報

自己免疫性小脳失調症

基礎研究の世界的な最新情報

小脳回路論

患者の日常生活の困りごとに根差した内容も。

小脳脚の異常など

臨床研究と基礎研究の統合

基礎研究のトピックスなど伺いたいです

再生医療 受容体SPECT 人工小脳などの話題

治験

学術的なテーマ、最新研究

治験・治療法研究の最新情報

リハビリテーション分野

導入可能な新規技術とインフォマティクス

工学系やイメージングの話題

今回のように様々な話題がいいと思います。

理化学研究所の道川先生のお話をじっくりと聞きたいです

小脳変性症に関する研究の現状。最新ニュース。

基礎、臨床、開発研究が揃った企画

認知、情動に関する小脳機能

本学術集会についてのご意見・ご要望(運営、開催形式、プログラム集等)などがございましたらお聞かせください。

36 件の回答

なし

2 件の回答

HPに記載されている氏名での判断なので間違いがあるかもしれませんが、評議員の女性比率は20%以上でしたが、理事の女性比率は一桁代でした。今後の運営のことも考慮すると、理事の女性比率を上げるべきと思います。

シンポジウムはややマンネリ気味。一般演題をもっといれよ。若い世代の発言が少ない。スケジュールがタイトすぎる。昼休みにもっと時間を取り、休憩をいれよ。

患者としては、専門的な話でわかりにくい、ウェブということで視聴参加ができ。現在の研究の実際が知れて興味深かった。

医療分野も大切なのはわかりますが、患者としてはついリハビリテーション分野の演題に惹かれてしまいます。

企業の参入を促すためのセッションの導入、質疑時間を増やすことや一般発表を増やすことを希望します。

今回は仕事の手が離せず参加できませんでした。次回は休日にしていただけると参加しやすいです。

一般演題を増やし、研究についてディスカッションが多くできるプログラムを期待します。

セクション研究会も含め、イベントをメールで知らせていただけるとありがたいです。

患者・家族が会員登録可能であるならば、Webでの参加は必須条件だと思います

現地開催となる場合は、若手の先生方のポスター発表会があると良いと思います。

可能でしたらオンデマンド配信もありましたら助かります。

ニュースレターやウェブマガジン、ホームページの充実

基礎（とくに生理学）と臨床の隔たりが大きい

よく考えられた会と思いました。

活発な議論でよかった

皆様がこれからの日本小脳学会に期待することなどがございましたらお聞かせください。

36 件の回答

脊髄小脳変性症は、そもそもmultisystemic disease なので、小脳学会という名称は、無理があるように思います。基礎系（生理）の方々と臨床系の方々が集まることで何が実現できるのか、吟味検討すると良いと思います。

細かいことですが、今回の口演内容にもあったように、運動学習の障害や不器用さもLDの一つとして支援の対象となるよう行政に提案してほしいです。いじめの原因として大きいと思うので。

小脳変性症のみでなく小脳病巣の脳卒中患者に対するリハビリテーションに関して、病態把握から介入方法、治療効果等を踏まえた症例報告や事例検討を行っていただきたいと思います。

今も、たくさん積極的に行っていており感謝しております。今後、海外の方の発表も聞けたらいいなと思います。いつもありがとうございます。

発展しても大きくなりすぎず、異分野間でも（臨床、研究、患者家族など）気軽に活発に議論できる状態を維持していただきたいと思います。

患者も新しい情報・正しい知識を持つべきであり、積極的に調査研究に関わらせていただくための足掛かりになればと思っております

一般の人に向けた専門家の話が聞ける機会が、もっとあればと思います。ウェブなど、参加しやすいものであればとおもいます。

臨床、基礎、患者とその家族、企業、行政の間のプラットフォームになることを期待致します。

他の学会ともっと連携し、幅広く人を取り込むこと。学会の参加が二けたでは長く続かない。

リアル学会ができた時の人的交流。若い小脳基礎研究者の長期ポジション確保への働きかけ

ますますのご発展を期待しております。微力ながらお手伝いできればと思っております。

患者様は正会員とは別枠会員枠を設けて、会費は無料とした方が良いように思います。

患者としても講演を聞ける身近な存在であってほしい。

今後の発展を期待（臨床と基礎の融合的発展を期待）

治療法があれば、良いと思います

臨床と基礎の架け橋となる催し